

平成 27 年度長野市健康づくり推進審議会（第 1 回）議事録（要旨）

と き 平成 27 年 7 月 30 日（木）

13 時 30 分～15 時

ところ 長野市保健所 会議室 AB

欠席 村澤委員・小泉委員・黒岩委員

次第	内容
1 開会	<p>(健康課長)</p> <p>「長野市執行機関の附属機関の設置に関する条例」による「健康づくり推進審議会」について説明。</p>
2 会長挨拶	<p>要綱による合議体の懇話会から条例による審議会に移行し 市の附属機関としての役割がより一層鮮明になり、気が引き締まる。</p> <p>平成 27 年度から 28 年度にかけては、現計画の最終評価やそれらを踏まえた平成 29 年度以降の時期計画の策定などが予定されており、委員一人ひとりのご意見、ご提案が長野市の健康づくりの方向性を決めていく上で、大変重要となる。</p> <p>これまで以上にその役割を認識し審議会が所期の目的を果たせるよう協力を依頼する。</p>
保健福祉部長 挨拶	<p>長野県は日本一の健康長寿県であり、長野市も同様であるが、健康寿命との差を縮める対策が重要である。長野市では平成 23 年から健康増進計画「新・健康ながの 21」を策定し、昨年は中間の結果を踏まえて市民の健康意識の向上のために「健康長寿 6 か条」の作成周知、糖尿病対策等に取り組んでいる。この計画の最終評価に向けて現状把握・分析を行い新たな「健康増進計画」の策定につなげる準備を行う。ご意見等を賜り、本市の実情にあった効果的な健康づくりに反映することができるよう、格別のご支援、ご協力をお願いする。</p>
3 新委員紹介	<p>新委員紹介</p>
(会議の公開)	<p>(長野市の審議会等の会議公開指針に基づき、本審議会は公開となる旨説明)</p>
6 議事	<p>(議事進行 会長)</p>
(1)「新・健康ながの 21」の進捗状況について	<p>「新・健康ながの 21」指標・各具体的施策について 資料No.1</p> <p>具体的施策、No. 21、26、37、51、67、71、72、82、87、95、96、126、135、136、146 (健康課・担当課 説明)</p> <p>事前質問の回答・説明</p>

次第	内容
	<p>(委員)</p> <p>Q-Uとは、「学級内の人間関係の様子について」調べるもので、コンピューター診断してありますのでとても見やすく、前回結果との変化がわかり、大変有効なものです。長野市独自のQ-Uに似たものを開発しているとお聞きしていますが、これはいつ頃できるのですか。また、新しいものが開発されるまでの間の繋ぎはどうなるのかをお聞きしたいです。</p> <p>2つ目、特別支援教育について、主に発達障害と診断されている、またその可能性が疑われているお子さんが非常に増えております。新しく入った学校環境に合わない、勉強が苦しくなってきたなど、様々な困難を抱えた子ども達に対して、特別支援教育支援員の存在と言うのは大変大きいものがあります。長野市以外の周辺の小さな学校でも2名の特別支援教育支援員が在籍している学校もあります。長野市での特別支援教育支援員の合計数は多いのですが、1校あたりの数はどうか、あるいは、それぞれの学校の質を見て判断していただきたいと思います。</p> <p>(健康課)</p> <p>長野市独自の調査票については、不登校対策委員会登校支援部会で開発を進めております。8月の校長会で詳細を説明しますとのこと。</p> <p>(委員長)</p> <p>特別支援教育支援員の配置の差があるというのは、効果的な配置をするということからきていると思いますが、「効果的な配置」というのはどのような点に注意をされているのでしょうか</p> <p>(健康課)</p> <p>即答できませんので、後日お返事させていただきます。</p> <p>(委員)</p> <p>資料1のNo.20、新規の柳澤運動プログラムを実施するに至った経緯、内容を教えてください</p> <p>(健康課)</p> <p>柳沢プログラムというのは、前松本短期大学の柳澤秋孝先生が考案されたもので、運動に遊びを取り入れたプログラムです。具体的には、動物の動きを真似した運動で、子どもさんが楽しみながら体力がついたり、柔軟性が増したり、脳の活性化にもつながるといったものです。</p> <p>長野市教育委員会では「しなのきプラン29」という、学力向上・体力向上のプランを作成して、27年度から3年計画ですすめています。その中で中学校女</p>

子の体力が全国で最低クラスという課題がありました。中学校の前の小学校、幼児期のときから運動、体力をつけるための取り組みをしたら良いということで、柳澤先生にご相談させていただき、今年度から公立保育園34園を30グループに編成し、1グループ年3回ずつ行うようになりました。なお、私立の保育園、幼稚園でも先行して行っているところもあると聞いております。保育士、幼稚園教諭が、柳澤先生とそのスタッフから講習をうけ、プログラムを習得し、3年後5年後に成果を見ようということで進めています。

(委員)

資料1、No.51の気軽に健康づくりが出来る機会の充実の中で、平成25年実施結果では登録団体数9923団体なのに対して、平成26年には1575団体に減少した理由が分かりましたら教えてください。

(スポーツ課)

こちらの登録団体数は、1年度での新規の登録団体数でありまして減少しているわけではありません。数字的には激減しているように見えますが、継続して使っている団体もある中で、新規登録の団体が1575団体という意味です。

(委員長)

こちらは、毎回こういった数字の表記の仕方なんでしょうか。非常に分かりづらいと思いますが。

(スポーツ課)

集計が年度によって波はありますが、学校の施設を利用される方が、毎回市役所に来て団体登録をしていただくという表をもとに集計しています。非常に分かりづらくて申し訳ないのですが、工夫はして行きたいと思っております。

(委員)

資料1のNo.21ですが、青年期からの糖尿病予防対策講座で、30歳代を対象にと書いてありますが、この参加者はどうやって集めているんでしょうか。

(健康課)

主には「広報ながの」で周知をさせていただいております。そのほかには、保健センターで乳幼児健診等の30代の方が集まる機会にチラシを配布しております。

(委員)

資料1のNo.20で、柳沢プログラムは保育園などですよ。私は、昨年「笑

いヨガ」を始めました。これは、長野市に普及してまだ10年くらいですけど、世界では101カ国で行われている、子どもから高齢者まで簡単に楽しめる健康体操です。免疫力がアップしたり、高血圧、血糖値の上昇防止にも成果があり、マスコミでも取り上げられています。インドの医師が作った健康体操で、私たちは今、ボランティア活動で高齢者老人ホーム、小学校、児童館に行って行ったりしています。この笑いヨガも、柳沢プログラムのように新規講座として取り上げていただければ有難いなと思います。

(委員長)

そうですね。様々な対象に対しての取り組みがあるということで非常に良いと思います。わざわざ、柳沢プログラムという名前を付けて実施している理由が特にあるのでしょうか。

(健康課)

「柳沢運動プログラム」というのは、「運動と遊びのプログラム」とも言いますが、柳澤秋孝先生が考案したものですのでこの名前をつけています。

塩尻、茅野ほか長野県内でも行われていますし、九州でも盛んであると聞いています。また、「柳沢運動プログラム」を推進するNPO法人が茨城のつくばを拠点としてあり、県内にも上田に同法人があります。これ自体、固有名詞、プログラムとして認知度を得ているということもありまして、柳澤先生の許可を得まして、このような名称を使わせていただいております。

(委員長)

これは園児対象なんのでしょうか。動物の動きは厳しいと思いますが。

(健康課)

対象は、年中から小3までです。跳び箱や、室内用の鉄棒を使ったりもします。それによって、体力の向上、脳の活性化にも効果があるようで、この運動を行った後教室へ戻ると、お子さんの集中力が上がったりするというデータもあるようです。

(委員長)

笑いヨガの対象年齢はどうですか

(委員)

小学校から、身障者、高齢者と幅広く対応しています。まだまだ歴史が浅くこれからの分野ですが、認知症の方が笑顔を見せるといった効果もあります。

<p>(2) 最終評価及びアンケート</p>	<p>「新・健康ながの21」最終評価実施要領について</p> <p>「新・健康ながの21」指標について</p> <p>アンケートについて</p> <p>(健康課)</p> <p>(委員)</p> <p>健康づくりに関するアンケートの間3の9番、「ながのの味を大切にしていますか」というのは、どういう意味でしょうか。</p> <p>(健康課)</p> <p>長野の食文化を大切にするという実践目標が食育計画の中にあり、長野の食文化等を大切にしているかということを知りたい項目です。</p> <p>(委員)</p> <p>回答する方は、意図するところがわかりますか</p> <p>(健康課)</p> <p>漠然としていて分かりにくいと思いますので、再度検討したいと思います。</p> <p>(委員)</p> <p>私は、長野の食材を大切にしていますかと捉えてしまいました。少しこれは工夫されたほうが良いのではないのでしょうか。</p> <p>(委員長)</p> <p>これも前回からの同じ項目だと思いますので、あまり内容を変えずに検討いただければと思います</p> <p>(委員長)</p> <p>前回のアンケートの回収率はどれくらいでしたか</p> <p>(健康課)</p> <p>46、4%です</p> <p>(委員長)</p> <p>この種のアンケートではかなり高い回収率ではあると思いますが、今回60%を目指すのは、何かお考えがあるのでしょうか</p> <p>(健康課)</p> <p>これといった明確な根拠はありませんが、こういったアンケートを長野市でとる</p>	<p>資料2</p> <p>資料3</p> <p>資料4-1・2</p>
------------------------	---	--------------------------------------

<p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>	<p>と、高齢者の回答率が高く若い世代は回答率が低い傾向にあります。長野市民は健康に関心があるということもあり6割を目指しています。</p> <p>(委員長) 市民に健康に関心をもってもらうことを目指すということですね。 アンケートの判定区分に、評価なしという区分がありますが具体的にご説明いただけますか。</p> <p>(健康課) 数値の増減のみで評価することが不適當なもの、今回数値が算定できないもので、中間評価時には「重点施策の歯と口の健康づくりの対策」で、数値がなくて評価できないものが1指標ありました。中間評価の冊子、20ページの市民自らの行動指標No.6が、目標設定時に数値がなかったため、評価が出来ませんでした。今回は平成25年の調査をもとに評価を行います。今回の最終評価では@「評価なし」の区分はない予定です。</p> <p>(委員長) はい、わかりました 喫煙の項目は最初からなかったですか、受動喫煙がなかったのでしょうか</p> <p>(健康課) 問31番の受動喫煙に関する項目は今回追加しまして、喫煙に関する問29、問30につきましては従来からあります。</p> <p>(委員長) はい、ありがとうございました。集計は外部機関がやるのでしょうか</p> <p>(健康課) 集計に関しては外部に委託しまして、集計結果をこちらで分析します。</p> <p>(健康課長)</p>
--------------------------	---